

世界が 懸念 していること

2024年8月

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界29カ国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、=Report_1175
www.ipsos.comでもご覧いただけます。

詳細については、
Teodros.Gebrekal@ipsos.com
までお問い合わせください。

主な調査結果

01. 英国国民は楽観的

最近の情勢懸念にもかかわらず、英国は楽観的な見方を強めています。国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合は16ポイント増加しています。

02. インフレは依然として最大の懸念事項

29ヶ月連続で、価格上昇への懸念が29カ国で最大の問題となっています。しかし、懸念レベルは2022年3月以来の最低を記録しています。

03. ペルーは不平等を懸念している

ペルー国民は現在、貧困と社会的不平等を最大の懸念事項としており、半数以上がこれらが自国が直面している問題であると回答しています。

04. マレーシアは犯罪を懸念

マレーシアでは、懸念レベルが9ポイント上昇し、10人中3人が懸念していると答え、4年ぶりの高水準に達しています。

05. アルゼンチンでは雇用が大きな懸念事項

アルゼンチンの失業に対する懸念レベルは2023年12月以降着実に上昇しています。これは現在、インフレに次ぐ、アルゼンチンにとって二番目に大きな懸念事項となっています。

06. チリは移民問題を懸念

チリで調査を受けた人のほぼ半数が、移民管理を最大の懸念事項の一つとして挙げています。過去1年間、優先度が着実に高まってきた問題です。

世界が懸念していること 2024年8月

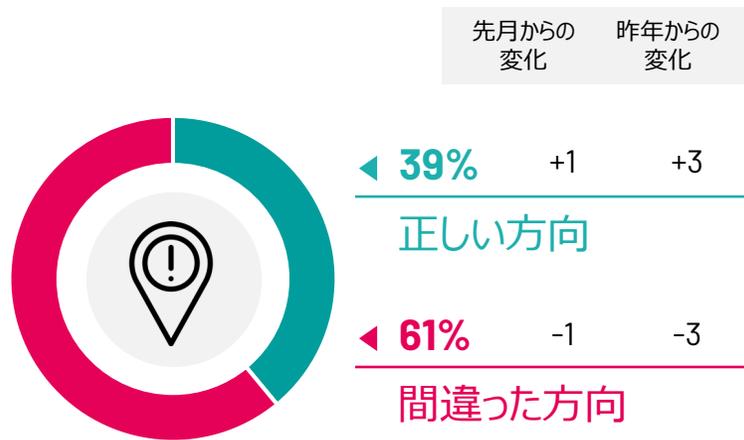
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	先月からの 変化	昨年からの 変化
インフレ	-1	-5
貧困と社会的不平等	+2	=
犯罪と暴力	-1	-1
失業率と雇用	-1	=
汚職、経済・政治スキャンダル	-2	-3

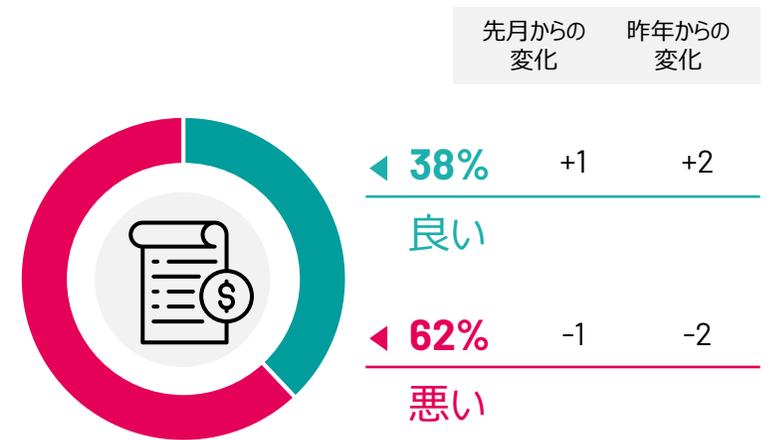
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



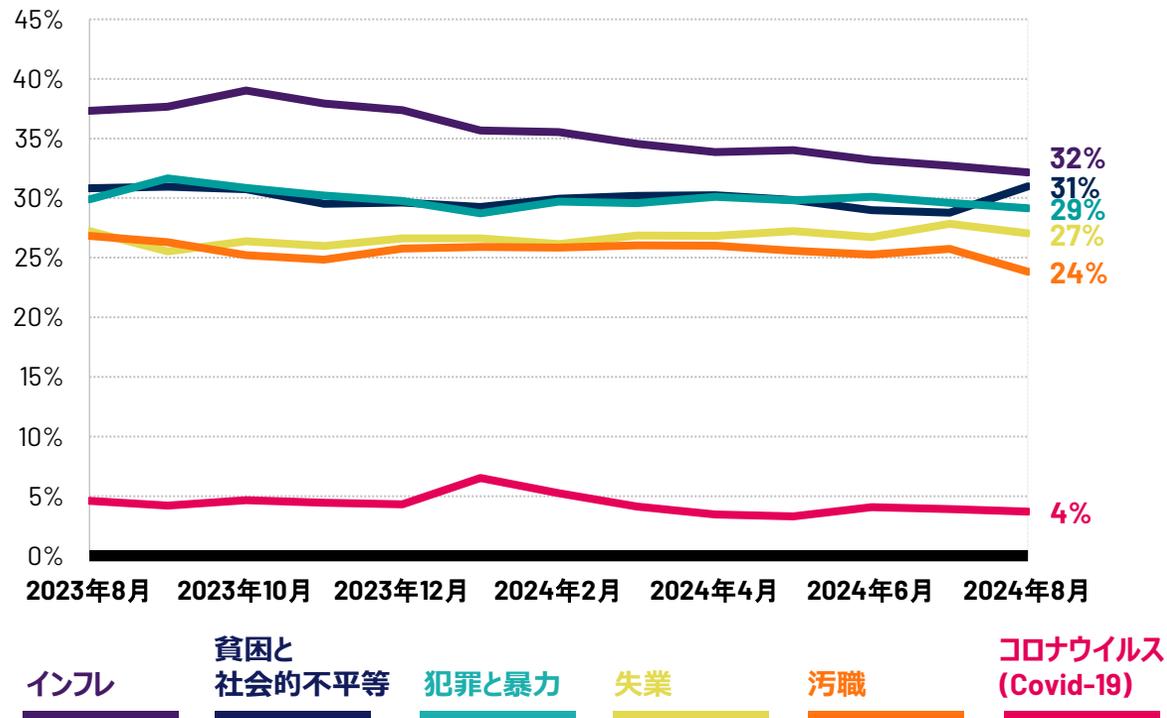
対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年8月

世界が懸念していること 12ヶ月のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

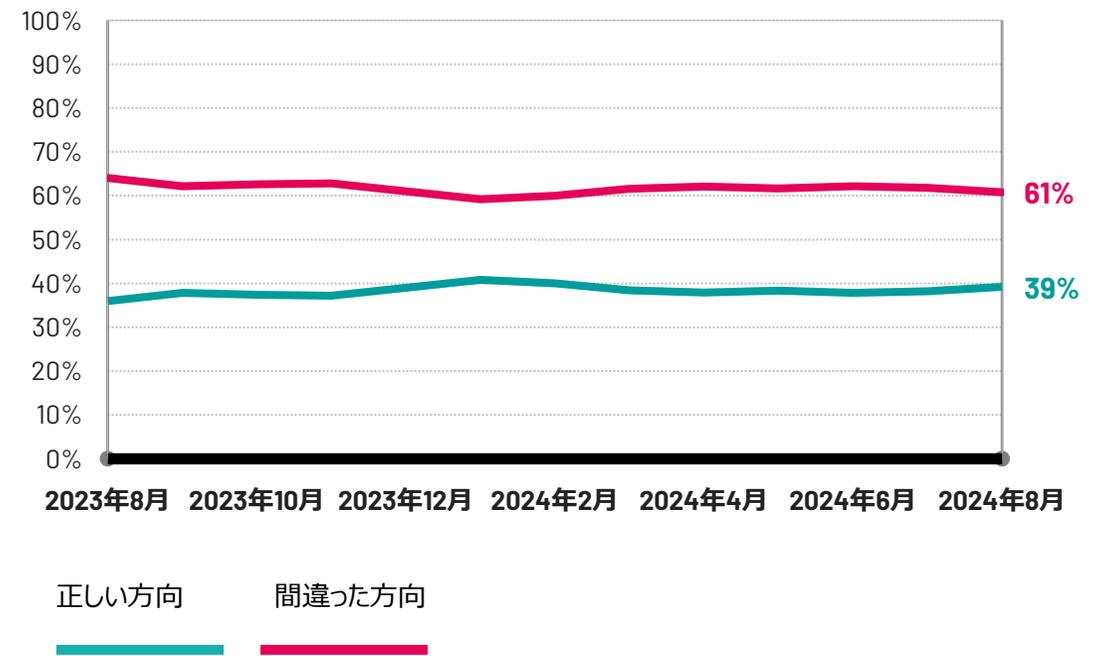


対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年8月

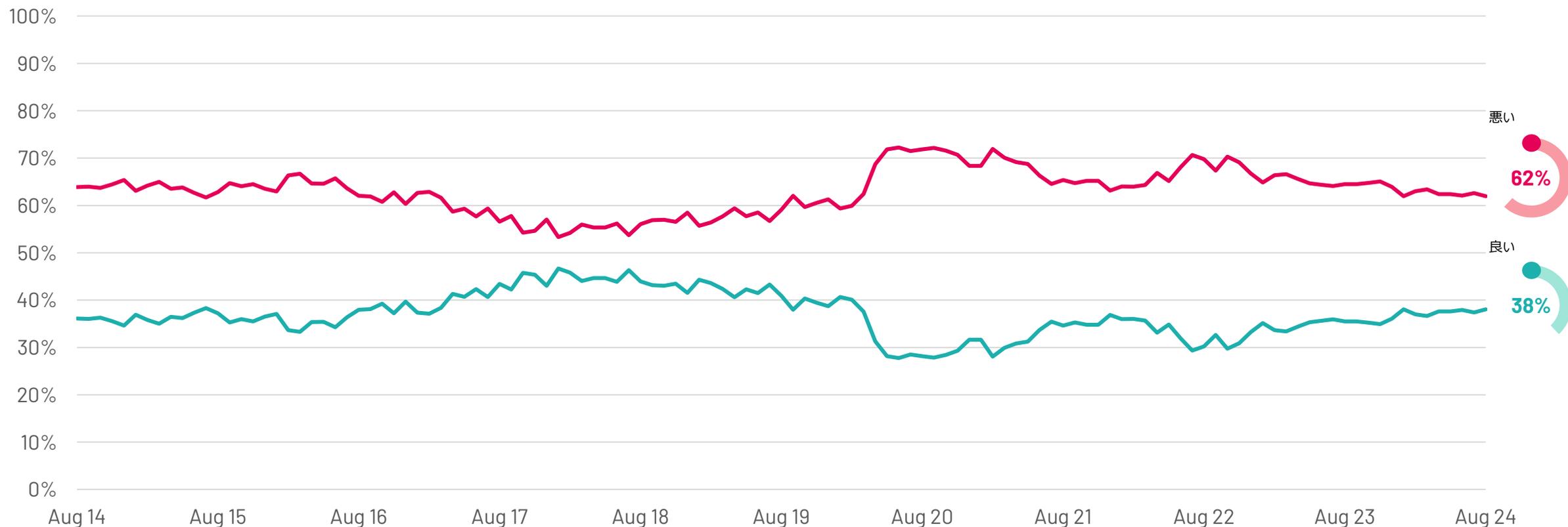
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年8月

各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

29カ国で39パーセントが自国は正しい方向に向かっていると答えています。これは先月からわずかに上昇しており、1年前より3ポイント高くなっています。

最近の情勢懸念にもかかわらず、英国は総選挙をきっかけに楽観的な見方を強めています。先月以来、国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合は16ポイント上昇し、5分の2以上(44%)となっています。これは1年前より11ポイント高く、2021年7月の46%以来の英国の最高スコアでもあります。

同様に、ベルギーの正しい方向スコアも比較的高いレベルに達しています。6ポイント上昇して38%となり、これは1年前より14ポイント高く、2021年1月の40%以来の最高レベルの肯定的評価です。

カナダは、2024年6月に過去10年間で最

低の正しい方向スコア28%を記録した後、回復しつつあります。物事が順調に進んでいると答えた楽観的な見方は8ポイント上昇して37%となり、これは2023年7月の39%以来の最高スコアです。

44%

英国国民の70%が、自国は正しい方向に向かっていると回答しています。これは2021年7月以来の最高スコアです。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

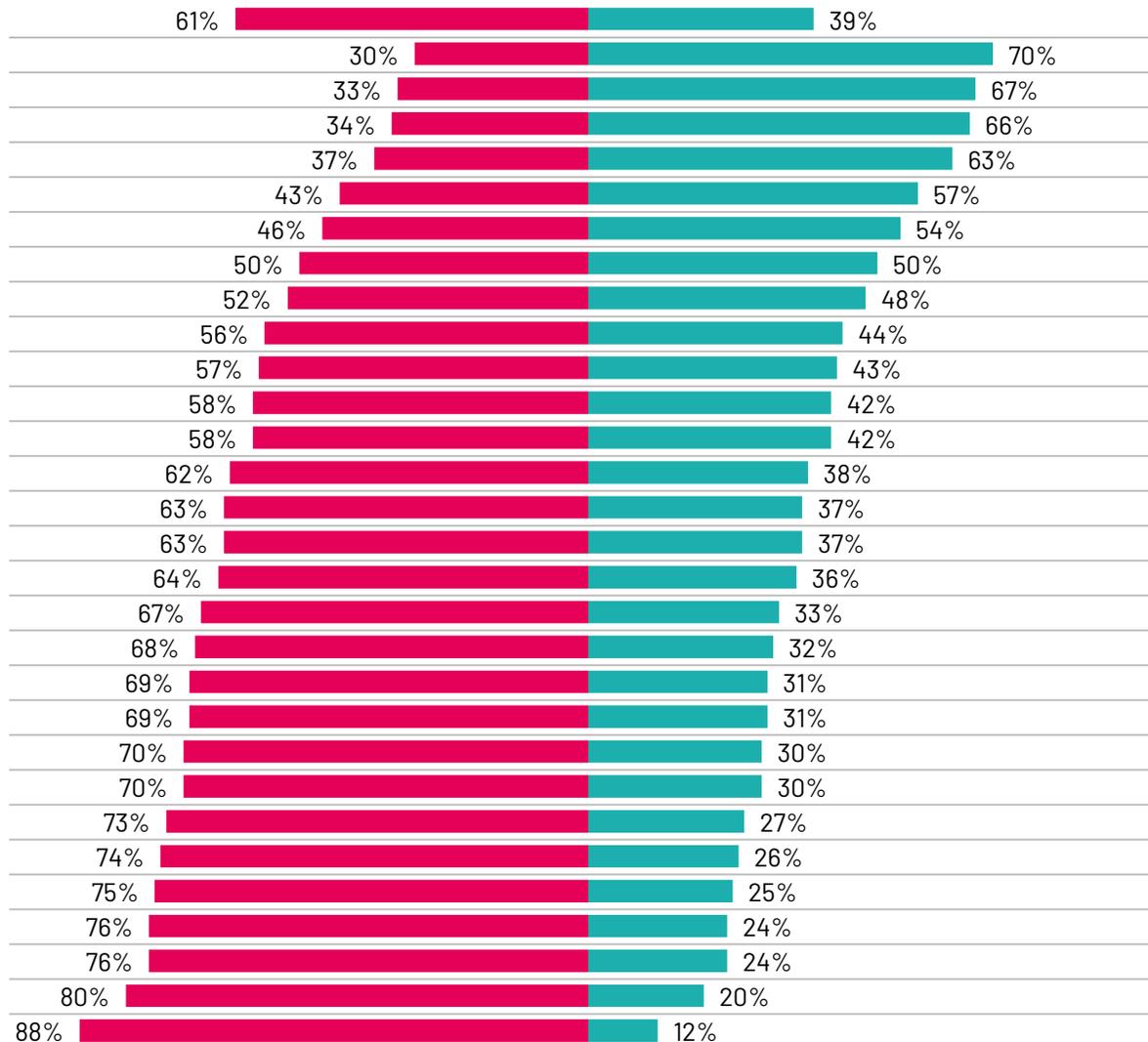
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国

世界
インドネシア
インド
シンガポール
マレーシア
アルゼンチン
メキシコ
タイ
オーストラリア
英国
ポーランド
スペイン
ブラジル
ベルギー
南アフリカ
カナダ
米国
スウェーデン
イタリア
コロンビア
オランダ
チリ
ドイツ
トルコ
韓国
ハンガリー
日本
フランス
イスラエル
ペルー

Q:この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。(2024年8月)



正しい方向

間違った方向

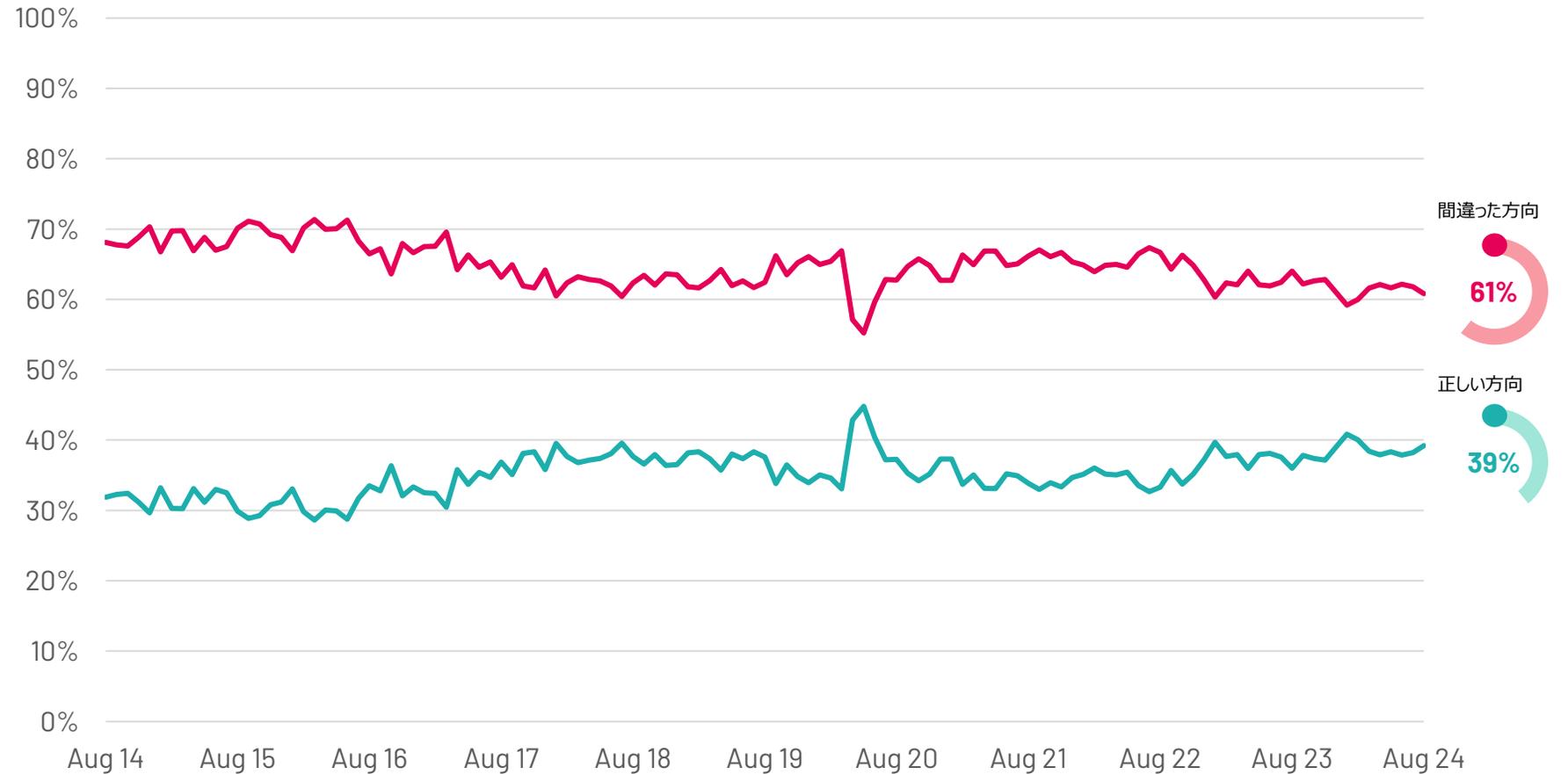
世界の正しい方向/間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表
サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

インフレに対する懸念は昨年後半に低下し始めて以来、ここ数ヶ月は3分の1程度で安定しています。今月は、インフレを問題として挙げる人がわずかに32%に減少し、2022年3月(27%)以来の最低スコアとなっています。

一方、貧困と社会的不平等に対する懸念は29カ国でわずかに増加し、現在ではインフレに対する懸念とほぼ同数で、31%が懸念しています。また、犯罪と暴力を抜いて懸念事項リストの2位になっています。

今月は、残りの主要な懸念事項に対する懸念レベルがすべてわずかに低下し、犯罪と暴力は2位から3位に上昇しています。

税金に関する懸念は、18の問題リストの中位に留まる傾向にあります。しかし、今月は、税金を回答する人がわずかに17%

に増加し、8位から6位に上昇しています。

メキシコでは今月、税金に関する懸念が17ポイント上昇し、急増しています。この数字は、同国全体の昨年8月より9ポイント高いスコアです。

29

ヶ月連続で、インフレが最大の
の問題となっています。

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

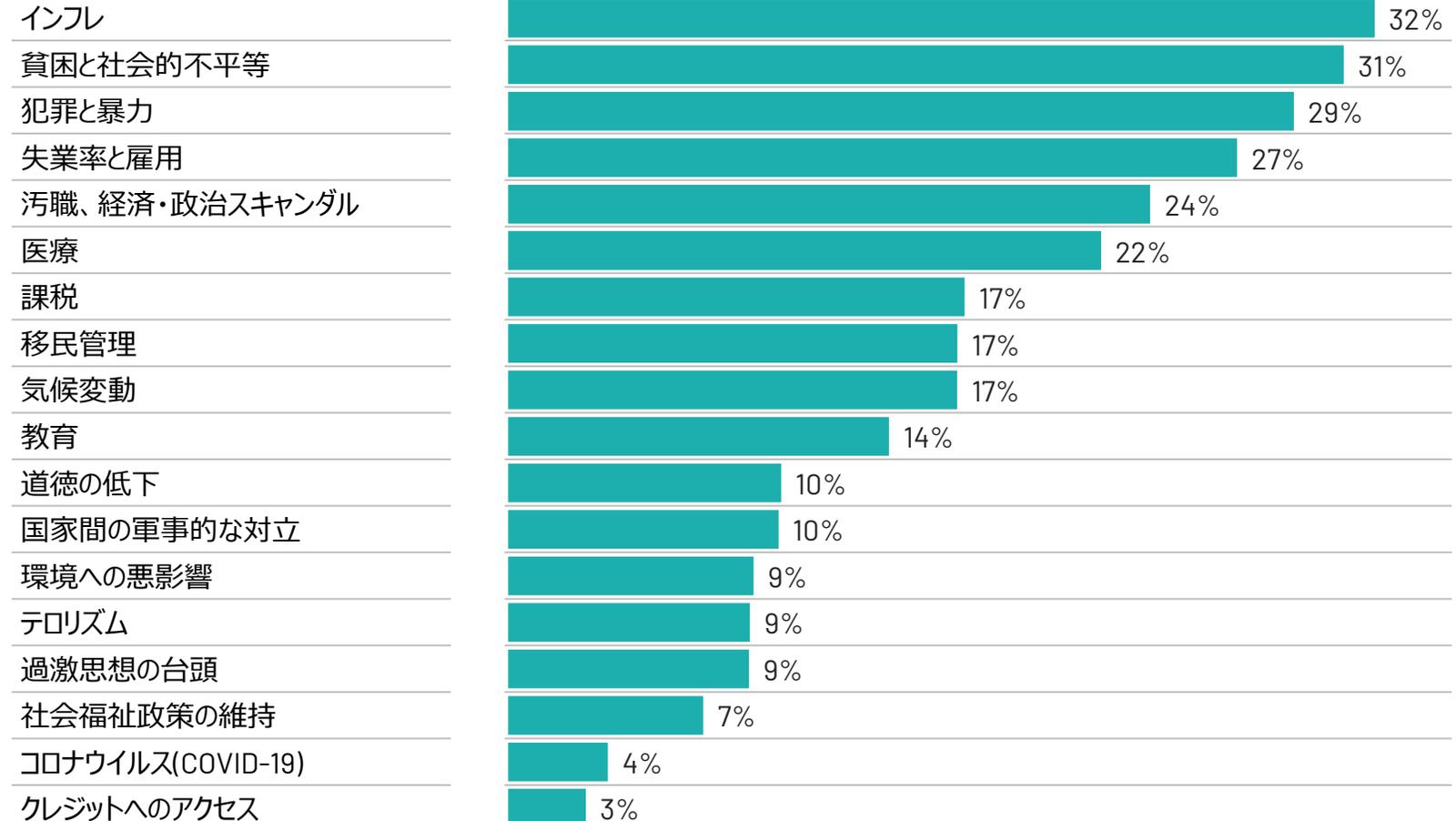
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

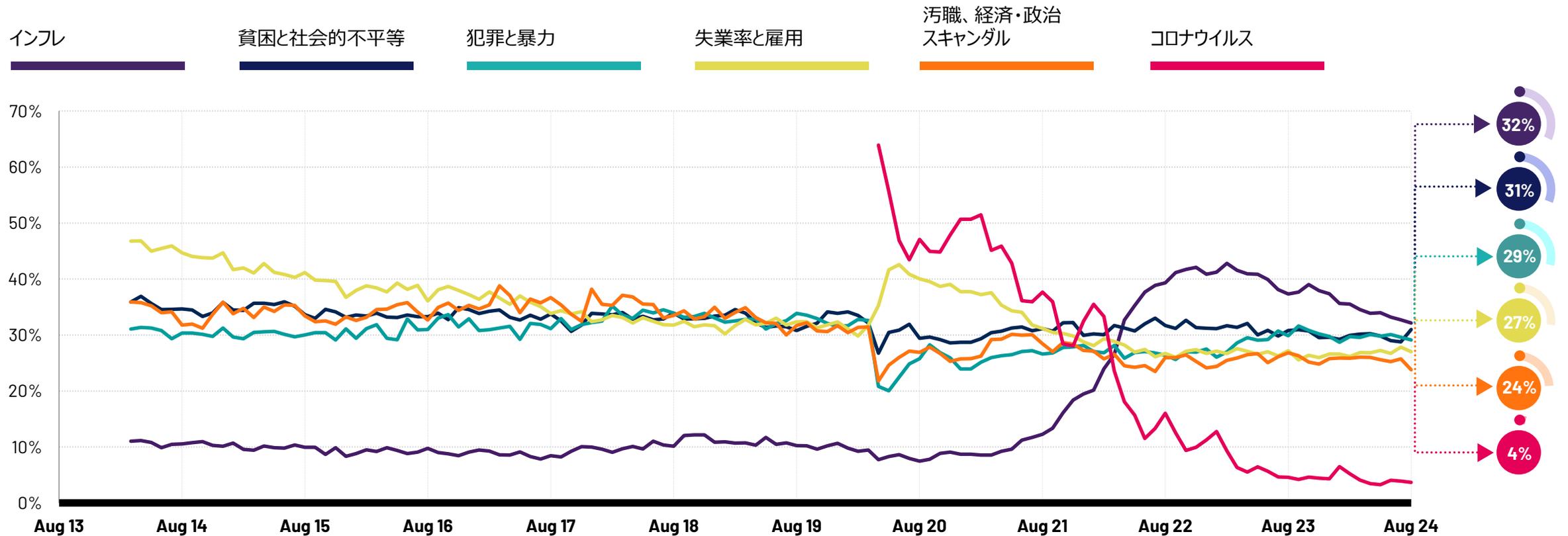
懸念事項

2024年8月の回答割合(世界各国平均)



世界の懸念事項：長期トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年8月

1. インフレ

29カ国で約3人に1人(31%)が価格上昇が問題であると答えており、29ヶ月連続で最大の懸念事項となっています。今月は先月より若干減少し、懸念レベルは1年前より5ポイント低下しています。

アルゼンチンとポーランドは歴史的に懸念の強い国であり、懸念のレベルは依然として比較的高いままで。しかし、1年を通して見ると、アルゼンチンのスコアは17ポイント低下し、ポーランドのスコアは10ポイント低下しています。アルゼンチンは18ヶ月連続(2022年11月から2024年4月まで)で最も懸念する国となっています。

トルコのスコアも今月は6ポイント下がり、半数(50%)が回答しています。これは昨年より8ポイント低く、2024年としては最低のスコアとなります。

同様に、英国の懸念レベルは昨年より16

ポイント大幅に低下し、現在は27%となっています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(67%) • 米国(46%)
- アルゼンチン(52%) • ポーランド(43%)
- トルコ(50%) • フランス(40%)
- カナダ(50%)
- オーストラリア(50%)

32%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: Ipsosグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

1. インフレ

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	インフレを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	32%	-1	-5
シンガポール	67%	+19	+18
アルゼンチン	52%	+4	-17
トルコ	50%	-6	-8
カナダ	50%	-1	-8
オーストラリア	50%	+2	-4
米国	46%	-4	+3
ポーランド	43%	+4	-10
フランス	40%	+4	=
ハンガリー	38%	+2	-13
韓国	33%	-7	+3
ドイツ	32%	+7	-6
インド	31%	-7	-20
マレーシア	31%	-3	-9
チリ	31%	+1	-5
タイ	29%	-1	+2
英国	27%	-5	-16
スペイン	26%	+1	-5
日本	25%	-5	-3
メキシコ	25%	-5	-2
イタリア	24%	-3	-7
南アフリカ	24%	-1	-2
コロンビア	23%	-8	-7
ブラジル	23%	-2	-1
スウェーデン	21%	+7	-5
オランダ	21%	+2	-4
ベルギー	21%	-6	-13
インドネシア	20%	+1	+3
イスラエル	16%	-3	-5
ペルー	11%	-6	-11

2. 貧困と社会的 不平等

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表
サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、29カ国で貧困と社会的不平等に
回答する割合はわずかに上昇し、10人中
3人強(31%)となり、この問題はインフレと
ほぼ同等となっています。

ペルー国民は今年8月、特に不平等を懸
念しています。懸念していると答えた人の
割合は26ポイント増加し、半数(51%)とな
っています。これは1年前より18ポイント高
いだけでなく、ペルーで記録された最高レ
ベルでもあります。

ペルーの隣国コロンビアでも、懸念が高ま
っており、懸念を感じる人が10ポイント増
加し、5分の2(41%)となっています。これは
、2022年7月の43%以来の同国の最高
スコアです。

一方、メキシコ国民の懸念は今月大幅に
減少しており、1年前より15ポイント、5ポイ
ント低下しています。

貧困と社会的不平等が最大の 懸念事項となっている国:

- ペルー (51%)
- タイ (47%)
- オランダ (32%) - 医療と同率

31%

が、**貧困と社会的不平等**は
自国が直面している重要な
問題の一つであると答えてい
ます。

2. 貧困と社会的 不平等

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	貧困と社会的不平等を懸念していると回答した割合	先月からの 変化	12ヶ月の 変化
世界	31%	+2	=
ペルー	51%	+26	+18
タイ	47%	+4	+4
インドネシア	45%	+6	-2
アルゼンチン	43%	+4	+5
コロンビア	41%	+10	+7
ブラジル	38%	-1	-3
ハンガリー	37%	-6	+3
南アフリカ	36%	+3	-2
ドイツ	33%	+5	-3
英国	32%	+6	+4
オランダ	32%	=	-3
日本	32%	-3	-5
トルコ	31%	-3	-3
マレーシア	31%	+2	-3
シンガポール	30%	+17	+15
フランス	29%	+4	+2
スペイン	29%	+5	+3
オーストラリア	27%	-1	-2
イタリア	27%	+1	=
メキシコ	26%	-15	-5
カナダ	26%	+1	-2
韓国	26%	-1	-3
ベルギー	24%	-1	-4
ポーランド	23%	+3	+2
スウェーデン	23%	+4	-1
チリ	22%	-6	-5
米国	22%	+6	=
イスラエル	21%	-1	-1
インド	19%	=	-5

3. 犯罪と暴力

29カ国全体で、犯罪と暴力をトップ3の懸念事項の1つとして挙げた人は、わずかに減少し、10人中3人弱(29%)となっています。その結果、犯罪と暴力は懸念事項リストの3番目にランクされました。

マレーシアの懸念レベルは9ポイント上昇し、10人中3人(31%)が懸念しており、4年ぶりの高水準に達しています。2020年3月も31%のスコアを記録しました。これは昨年8月より13ポイント高い数字です。

同様に、**最近の騒乱**の後、英国のスコアも2020年3月以来の最高値となっています。今月、犯罪や暴力について回答した英国国民の割合は4ポイント増加して29%となっています。これは1年前より11ポイント高い数字です。

その他の国では、ペルー(48%)とメキシコ(47%)の懸念レベルはそれぞれ9ポイントと

10ポイント低下しています。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- チリ(61%)
- スウェーデン(58%)
- メキシコ(47%)
- ブラジル(42%)

29%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

3. 犯罪と暴力

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	犯罪と暴力を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	29%	-1	-1
チリ	61%	+4	-1
スウェーデン	58%	+1	-1
南アフリカ	53%	=	-3
ペルー	48%	-9	-9
メキシコ	47%	-10	-10
ブラジル	42%	+3	+2
コロンビア	39%	-1	-2
アルゼンチン	38%	-1	-1
フランス	32%	+2	-3
ドイツ	31%	+2	+5
マレーシア	31%	+9	+13
英国	29%	+4	+11
米国	29%	-3	-4
オーストラリア	28%	-6	+1
ベルギー	27%	+4	+1
イタリア	24%	-1	+4
イスラエル	24%	-5	-14
タイ	24%	-3	+3
トルコ	23%	+3	+9
スペイン	23%	+1	+2
インドネシア	21%	-1	-5
インド	20%	-1	-4
オランダ	19%	+1	-1
韓国	17%	=	-7
カナダ	16%	-5	-5
日本	13%	-1	-7
ポーランド	10%	-3	+1
ハンガリー	10%	+1	+3
シンガポール	8%	=	-2

4. 失業率と雇用

4分の1強(27%)が、失業と雇用を最大の懸念事項の1つとして挙げています。これは先月からわずかに減少していますが、年間では変化がありません。

この問題に対するアルゼンチンの懸念のレベルは、2023年12月以降着実に高まっています。これは国民の2番目に大きな懸念事項であり、51%が回答しており、インフレ(52%)に次いで2番目に大きい懸念事項となっています。これはアルゼンチンにとっても過去最高記録であり、同様の水準が最後に見られたのは2019年10月で、そのときは56%でした。

メキシコでも失業に対する懸念が高まっています。今年8月、失業を回答したメキシコ国民の割合は6ポイント上昇し、46%となっています。これは1年前より9ポイント高い数字です。

対照的に、コロンビアでは雇用に対する懸念が薄れており、雇用について回答した人の割合は9ポイント減少して43%となっています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(65%)
- コロンビア(43%)
- スペイン(34%)
- インド(33%)

27%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

4. 失業率と雇用

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	失業率と雇用を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	27%	-1	=
南アフリカ	65%	-1	+1
アルゼンチン	51%	+3	+13
メキシコ	46%	+6	+9
インドネシア	45%	-1	+6
コロンビア	43%	-9	-5
ペルー	39%	-2	+5
シンガポール	38%	-4	+3
韓国	37%	+7	-6
スペイン	34%	-1	-3
インド	33%	-6	-15
イタリア	32%	-1	-4
チリ	32%	=	-1
タイ	30%	+1	+5
マレーシア	29%	-4	-8
オーストラリア	22%	+2	+1
トルコ	21%	-2	-11
ブラジル	21%	-1	-7
ポーランド	19%	+1	+4
カナダ	17%	-4	+1
スウェーデン	17%	=	+4
ベルギー	16%	=	+4
英国	16%	+2	+4
日本	16%	-1	-3
米国	14%	-2	+1
ハンガリー	12%	-4	-4
フランス	12%	+2	+2
イスラエル	11%	-4	-3
ドイツ	10%	+2	+3
オランダ	8%	+1	+1

5. 汚職、経済・政治スキャンダル

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29カ国全体で、自国で汚職、経済・政治スキャンダルが問題になっていると答えた人の割合は今月わずかに減少し、昨年と同時期より3ポイント低下しています。

「世界が懸念していること」調査の中で伝統的に汚職を最も懸念する国の一つであるペルーでは、懸念していると答えた人が今月12ポイントと大幅に減少し、5分の2(41%)となっています。これは1年前より12ポイント低く、2021年9月(41%)以来の最低値です。

今月は3カ国で9ポイントの低下が記録されています。イスラエルでは、懸念を表明した人が4分の1弱(23%)で、これは昨年8月より14ポイント低下しています。アルゼンチンでは5分の1(18%)が懸念していると答え、シンガポールでは7%が汚職を挙げています(昨年より12ポイント低下)。

汚職、経済・政治スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(58%)
- マレーシア(44%)
- 韓国(38%)

24%

が、**汚職、経済・政治スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

5. 汚職、経済・政治スキャンダル

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	汚職、経済・政治スキャンダルを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	24%	-2	-3
インドネシア	58%	-5	+3
南アフリカ	44%	-1	-2
マレーシア	44%	-4	-7
ハンガリー	43%	-1	-3
ペルー	41%	-12	-12
タイ	40%	+1	-12
韓国	38%	+2	+4
コロンビア	31%	+1	-5
ブラジル	28%	-1	=
チリ	27%	-5	-13
日本	25%	-4	+13
スペイン	25%	-1	+5
イスラエル	23%	-9	-14
ポーランド	23%	-2	-5
メキシコ	22%	-1	-3
インド	21%	-1	-2
米国	20%	=	=
トルコ	19%	+1	+2
アルゼンチン	18%	-9	-10
オーストラリア	15%	+5	+3
イタリア	13%	=	=
ベルギー	11%	-4	-11
スウェーデン	11%	=	+4
英国	10%	-1	-5
ドイツ	9%	=	=
オランダ	8%	+2	-3
カナダ	8%	-2	-2
フランス	7%	+2	-2
シンガポール	7%	-9	-12

8. 移民管理

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、29カ国における移民管理の回答割合は17%のままです。しかし、年初来の変化を見ると、2023年8月よりも4ポイント高くなっていることがわかります。

今月最も懸念している国はチリで、ほぼ半数(47%)がこれを最大の問題として選択しています。これは7月から11ポイントの増加となっています。チリのスコアは2024年初めから5分の2前後で変動しているものの、それでも1年前より22ポイント高いです。

ドイツが移民管理を最大の懸念事項に据えるのはこれで5ヶ月連続となります(それ以前はインフレ)。しかし、今月はドイツ国民の懸念が4ポイント下がり、他の問題と同等になってきています。

英国のスコアは、今年記録された懸念レベルの中で2番目に高く、今月は30%に

達しています。最高スコアは2024年6月の32%でした。

移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- ドイツ(34%)

17%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

8. 移民管理

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	移民管理を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	17%	=	+4
チリ	47%	+11	+22
トルコ	41%	+3	+4
ドイツ	34%	-4	+1
英国	30%	+1	+5
米国	29%	+1	+10
オランダ	27%	-4	-5
カナダ	26%	-1	+14
ベルギー	24%	-4	+2
フランス	23%	-4	+2
ポーランド	20%	-9	+10
スペイン	20%	-5	+2
スウェーデン	18%	-7	-4
オーストラリア	16%	-2	+4
イタリア	16%	=	-2
南アフリカ	15%	+6	+8
シンガポール	13%	+3	+2
日本	13%	+3	+7
マレーシア	12%	=	+3
コロンビア	11%	+2	+5
ペルー	10%	+6	-2
インド	9%	+2	+6
ハンガリー	8%	-1	=
メキシコ	6%	-2	+1
イスラエル	5%	+2	=
タイ	4%	-1	+2
アルゼンチン	2%	-1	=
韓国	2%	+1	+1
ブラジル	1%	=	-1
インドネシア	1%	-2	-2

9. 気候変動

気候変動を懸念していると答えた人の割合は今月も変わらず(依然として17%)、1年前と比べてわずかに低下しただけです。

日本は、2014年3月に記録を開始して以来、気候変動に対する懸念が2番目に高いレベルに達しています。先月から6ポイント増加し、日本国民の3分の1(33%)がこれを最重要課題として挙げています。ちなみに、次に高いスコアは2018年9月に記録された34%でした。今月のスコアも昨年の同時期より6ポイント高くなっています。

アジア太平洋地域の他の国では、シンガポールでは懸念があると答えた人の割合が6ポイント減少して4分の1(24%)となり、1年前と同水準となっています。懸念が和らいでいるようです。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

17%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

- 日本(33%)

9. 気候変動

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	気候変動を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	17%	=	-1
日本	33%	+6	+6
オランダ	29%	+1	-3
カナダ	25%	+3	-2
シンガポール	24%	-6	+1
フランス	23%	+1	-7
イタリア	23%	+2	-4
米国	22%	+1	-2
ドイツ	21%	-3	-5
オーストラリア	21%	-3	-8
韓国	20%	-2	-3
英国	20%	-2	-6
タイ	19%	+1	+5
スペイン	19%	+1	-2
スウェーデン	19%	-1	+3
ベルギー	18%	-1	-4
ポーランド	18%	+4	+5
インドネシア	17%	-3	-4
メキシコ	16%	-3	=
ブラジル	14%	=	+6
インド	14%	+1	+6
マレーシア	12%	+4	+3
コロンビア	11%	-2	=
南アフリカ	11%	+2	+3
ハンガリー	9%	+2	+2
トルコ	8%	=	-5
ペルー	7%	-1	-2
チリ	7%	=	=
アルゼンチン	3%	-1	-1
イスラエル	2%	+1	-5

12. 国家間の軍事的な対立

29カ国平均で10人に1人(10%)が、国家間の軍事的対立が自国におけるトップ3の懸念事項の一つであると回答しています。

紛争を最も心配している国はイスラエルで、50%が懸念しています。これは先月より5ポイント高く、ガザでの現在の紛争前の昨年8月より32ポイント高い結果です。

合計で17カ国が過去12ヶ月間に軍事的対立に対する懸念レベルが上昇しています。イスラエル(+32ポイント)の増加が最も大きく、次いでオランダ(+8ポイント)、米国(+7ポイント)となっています。

この問題について最も懸念している国々の大部分はヨーロッパです。実際、最も懸念している上位5カ国のうち、残りの国はポーランド(31%)、ドイツ(22%)、オランダ(17%)、イタリア(14%)となっています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

10%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国:

- イスラエル(50%)

12. 国家間の軍事的な対立

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年8月

国	国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	10%	=	+3
イスラエル	50%	+5	+32
ポーランド	31%	+4	+4
ドイツ	22%	+2	+4
オランダ	17%	+1	+8
イタリア	14%	+1	+5
日本	13%	=	-3
米国	13%	=	+7
韓国	12%	-6	=
ベルギー	11%	+2	+3
英国	11%	-1	+2
スウェーデン	10%	-3	-1
インド	9%	+2	+5
スペイン	8%	=	+4
フランス	7%	-4	-1
オーストラリア	7%	-1	=
タイ	7%	+3	-1
ハンガリー	6%	-1	-1
シンガポール	6%	-2	-1
インドネシア	5%	+2	+3
カナダ	5%	+1	=
コロンビア	5%	+2	+3
ペルー	4%	+2	+2
マレーシア	4%	-2	+1
トルコ	3%	=	+2
チリ	3%	+2	+1
アルゼンチン	3%	+1	+3
メキシコ	2%	=	-1
ブラジル	2%	=	=
南アフリカ	1%	-1	=

17. コロナウイルス (COVID-19)

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: Ipsosグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29カ国平均で25人に1人(4%)がコロナウイルスを懸念しています。

懸念は先月から変化はなく、12ヶ月前よりも1ポイント低下しています。

多くの国で新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加しているにもかかわらず、ウイルスに対する懸念のレベルにはほとんど影響が及んでいません。

最も懸念している国は日本、インド、マレーシア(いずれも10%)です。

日本では今月、懸念が最も大きく増加し、懸念は7月より6ポイント上昇しています。

インドのスコアは今月わずかに上昇したものの、昨年8月よりはまだ低いです。

若干の増加が見られたもう一つの国はフラ

ンスで、懸念レベルは4ポイント上昇し、6%が懸念に回答しています。

4%

が、**コロナウイルス(COVID-19)**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

17. コロナウイルス (COVID-19)

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年8月

国	コロナウイルス(COVID-19)を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12ヶ月の変化
世界	4%	=	-1
日本	10%	+6	-1
インド	10%	+2	-2
マレーシア	10%	+1	-1
タイ	8%	-4	-4
メキシコ	8%	+1	+3
シンガポール	7%	-7	-2
フランス	6%	+4	+4
インドネシア	4%	-3	-4
韓国	4%	+1	-1
米国	4%	=	=
英国	3%	+2	-2
オーストラリア	3%	-3	-4
ポーランド	3%	=	-1
コロンビア	3%	+2	+2
ブラジル	3%	+1	-1
イタリア	3%	+1	-1
カナダ	2%	=	-1
ドイツ	2%	=	-1
トルコ	2%	-3	-3
スペイン	2%	-1	-2
オランダ	2%	=	=
ベルギー	2%	+1	=
チリ	1%	-3	=
アルゼンチン	1%	=	=
スウェーデン	1%	-1	-1
南アフリカ	1%	-1	-2
ペルー	1%	-1	-1
ハンガリー	1%	-2	-2
イスラエル	0%	=	-1

経済への注目

自国の経済状況

イプソスの「**世界が懸念していること調査**」と並び、毎月実施されている「**世界消費者信頼感調査**」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

29カ国平均では、自国の現在の経済状況を良好と評価する人が38%で、前月より1ポイント増加しています。

経済に対する肯定的な認識が最も大きく上昇したのはベルギーと南アフリカで、どちらも前月より9ポイント上昇しています。南アフリカでは、経済が好調であると答えた人が過去1年間で最大の増加を記録しており、昨年8月から17ポイント上昇して現在は34%となっています。

次に年初来で大きな増加を記録したのはオランダで、今月は若干減少したものの、前年からは15ポイント上昇しています。

フランスも7ポイント上昇しましたが、現在は22%が良好と回答しており、依然として最も不安感の強い国の一つとなっています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

スペインでは6ポイント上昇し、同国は過去最高の好景気スコア(43%)を記録しています。

一方、タイとメキシコはともに6ポイント下落しています。

経済を最も懸念している国:

- 日本(89%が「悪い」状態であると回答)
- ペルー(85%)
- 韓国(84%)
- アルゼンチン(80%)
- トルコ(78%)

43%

が国の経済状況は良好であると答えたスペインは過去最高を記録しています。



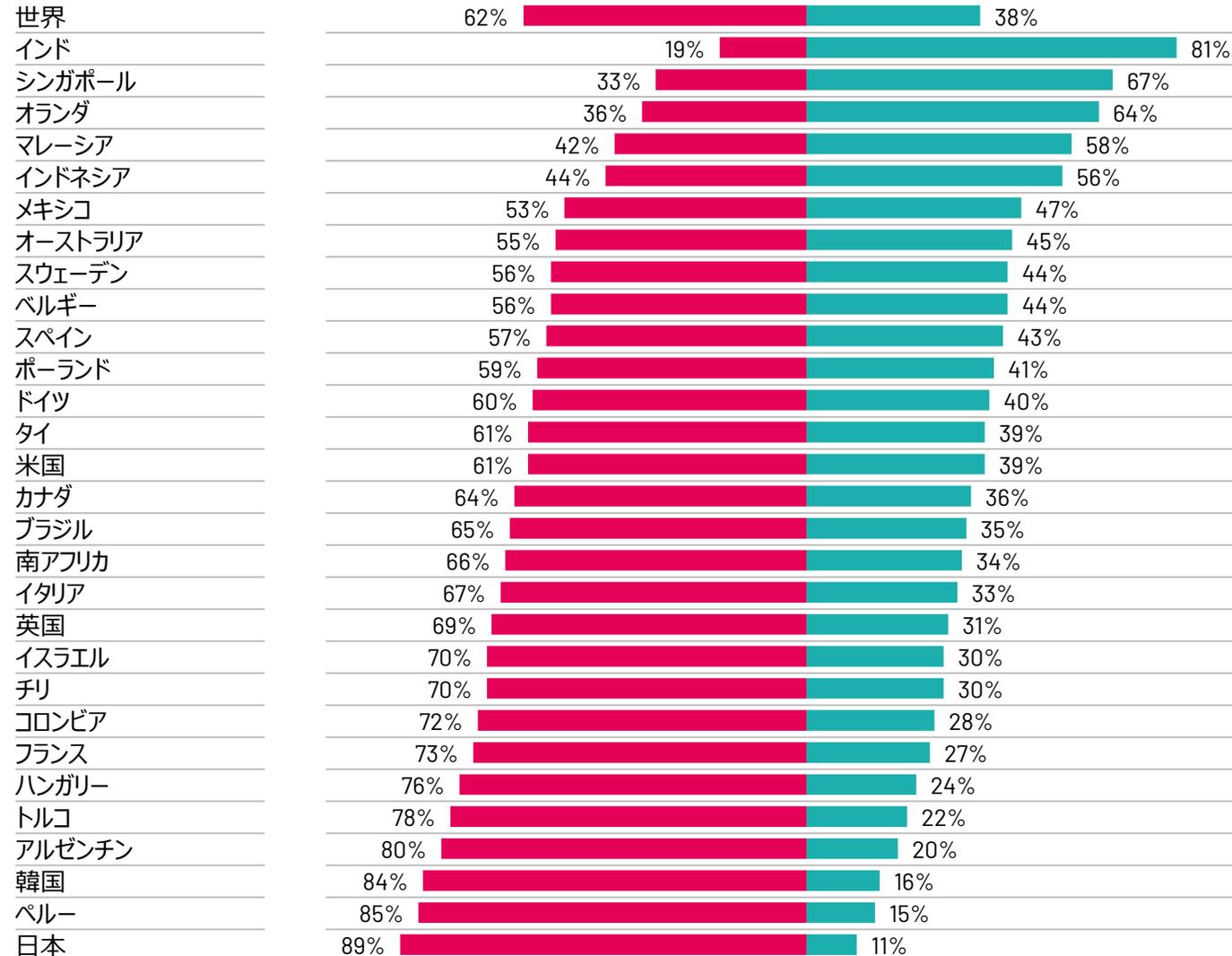
現在の経済状況

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

国

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



先月からの変化 12ヶ月の変化

先月からの変化	12ヶ月の変化
+1	+2
-2	+7
-9	-13
-5	+15
+5	+12
-2	-11
-6	+2
+3	+3
=	+5
+9	+5
+6	+4
-1	+4
-2	-3
-6	+2
-5	+3
+5	+1
=	-7
+9	+17
+3	=
+1	+3
=	-11
+4	+3
=	+6
+7	+3
+2	+6
-3	+8
=	+13
-1	+4
+5	-9
-1	-4

良い 悪い



現在の経済状況

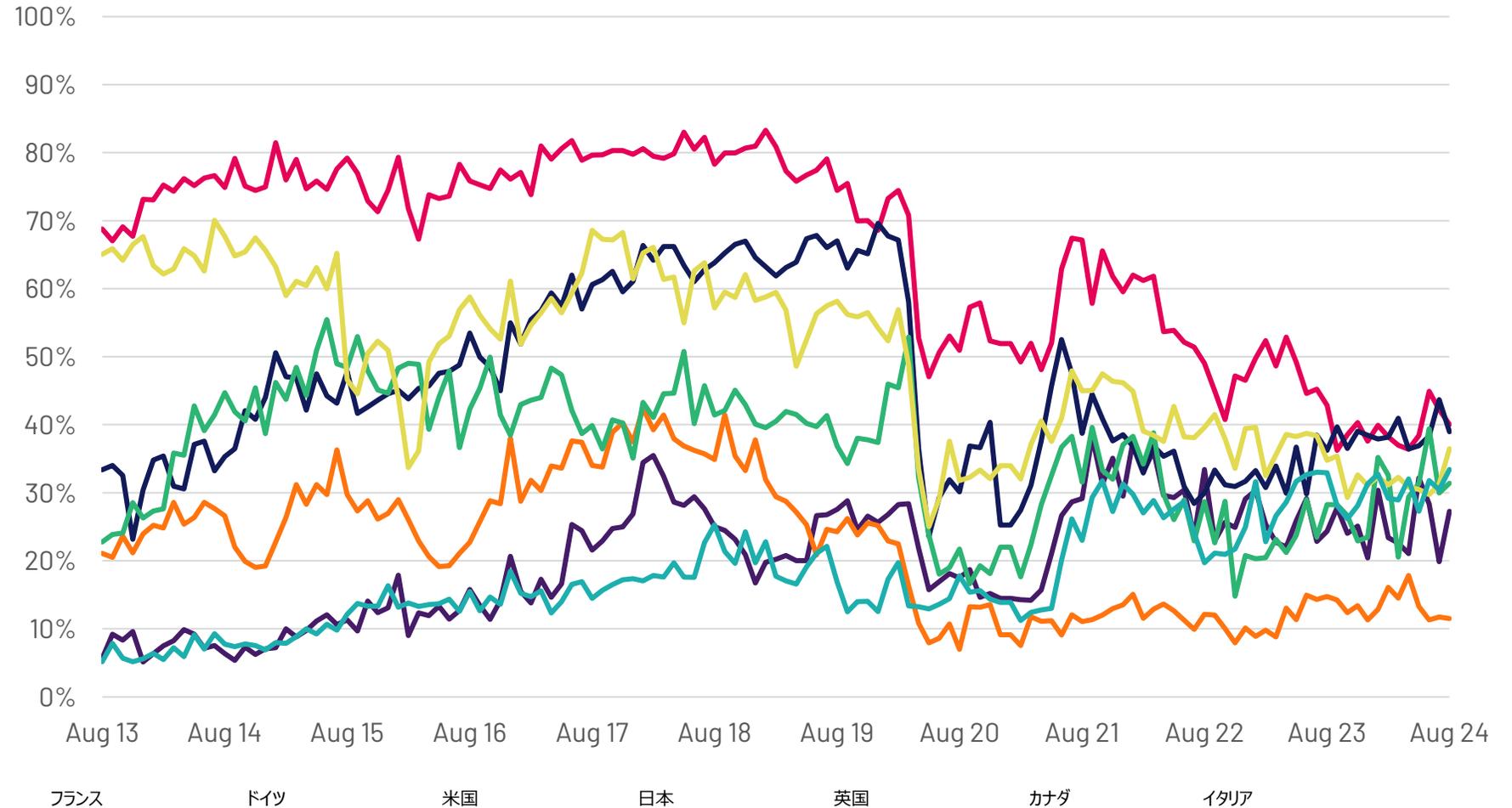
G7

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ベルギー

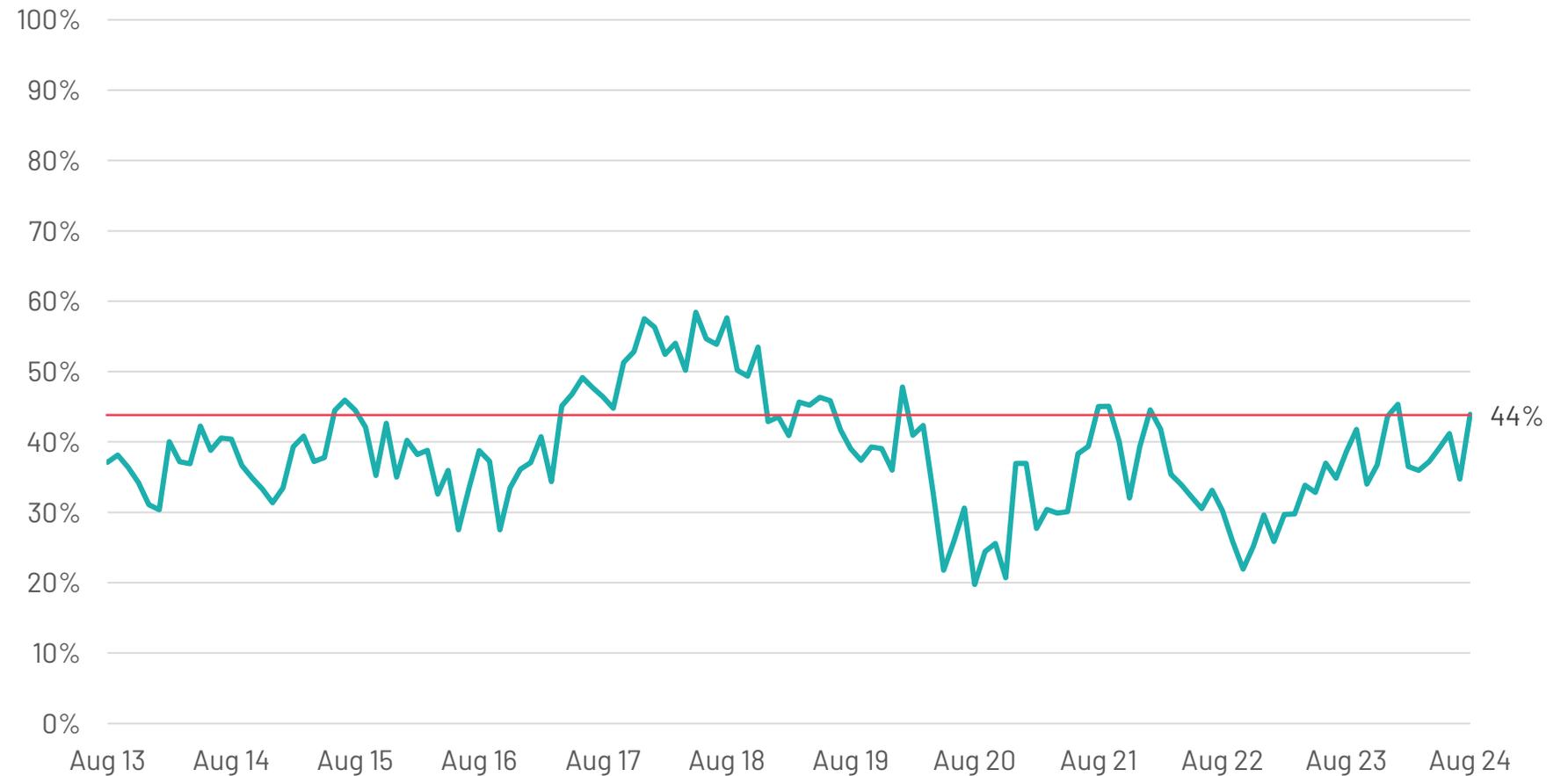
%「とても良い」または「やや良い」

ベルギーの良好な経済スコアは今月9ポイント上昇し、2024年7月から最大の増加となっています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

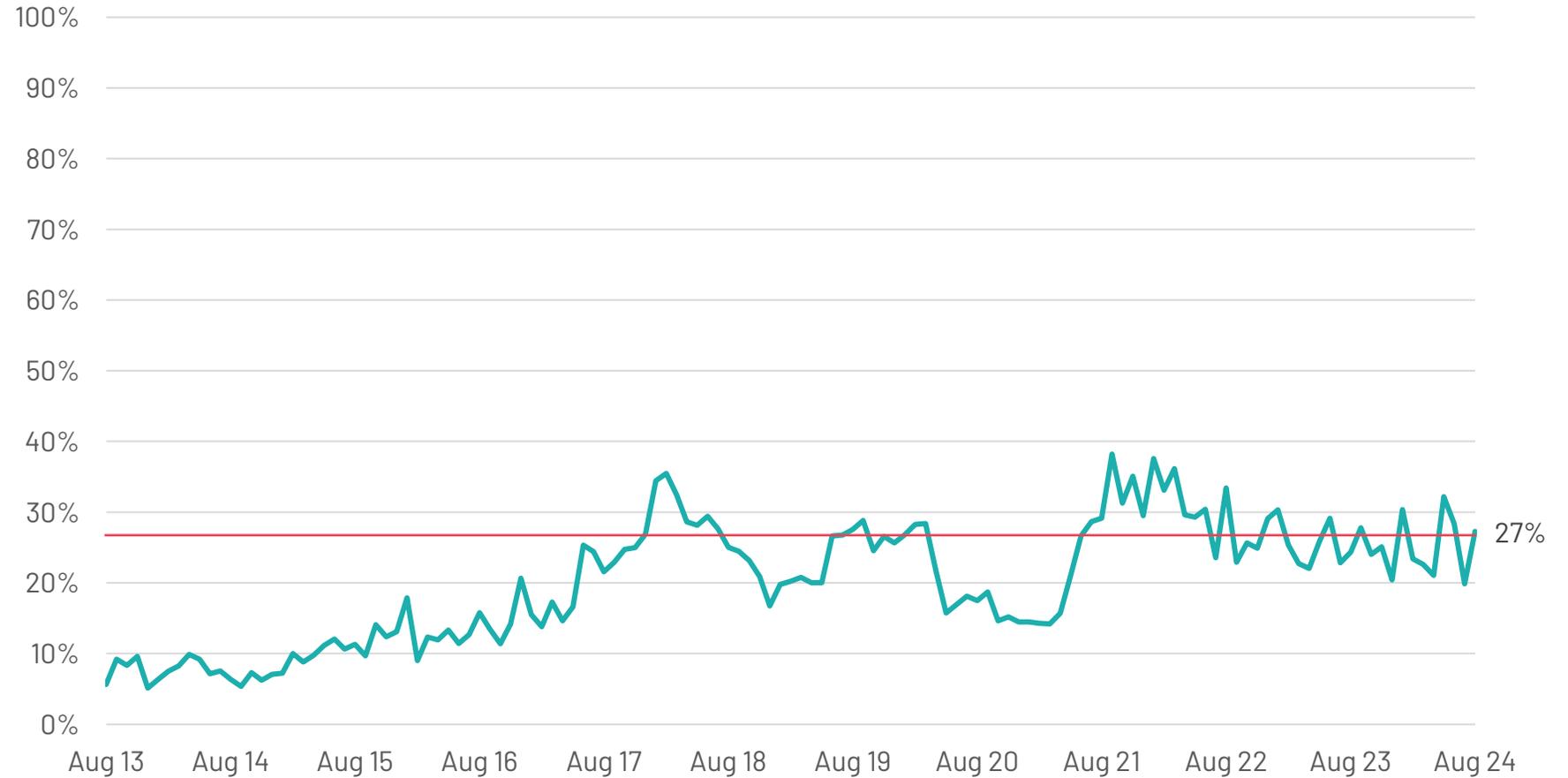
%「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアは先月より7ポイント上昇しています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

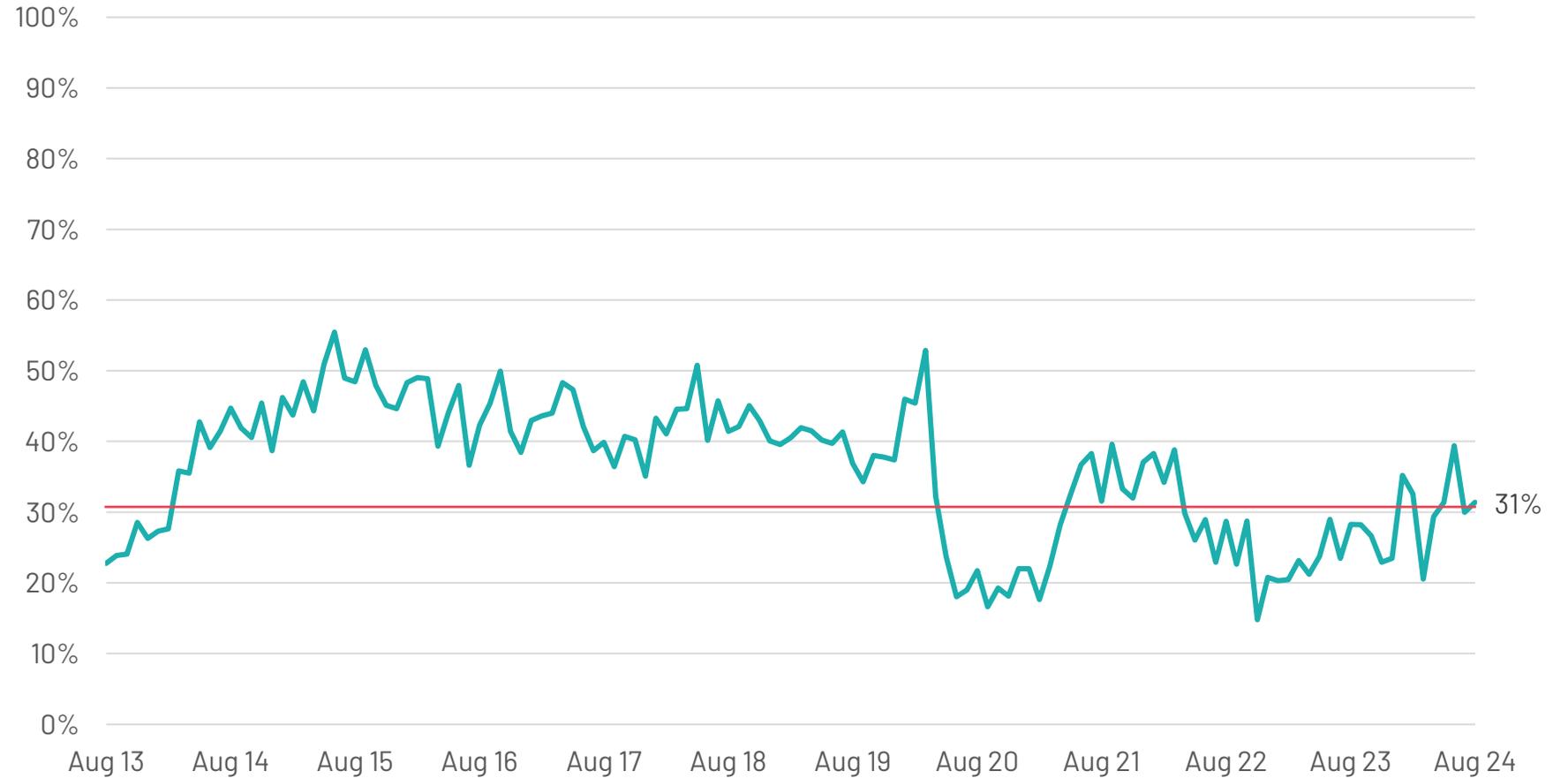
英国

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

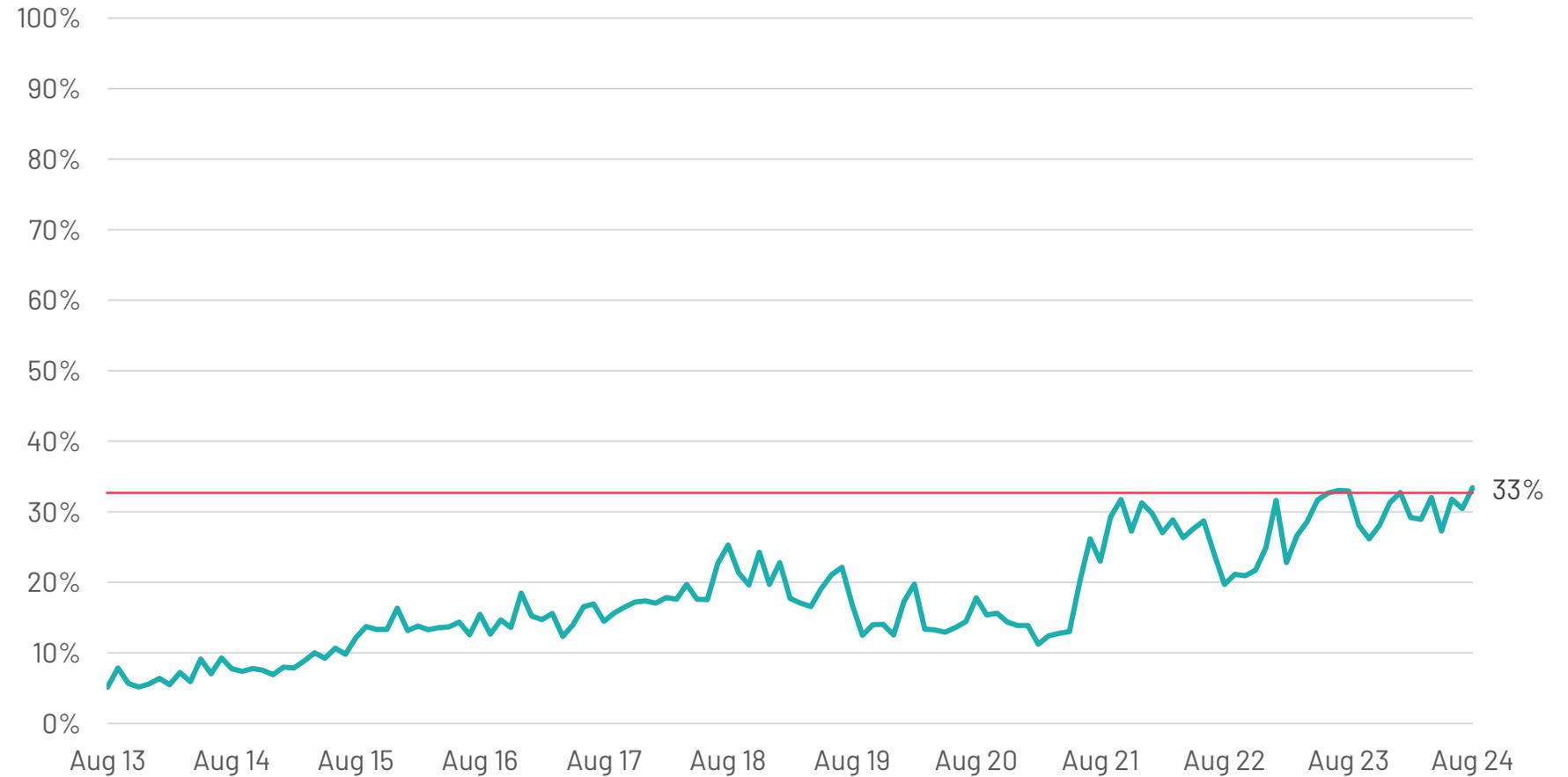
イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、日本の経済状況に対する認識は回復に苦戦しています。日本の好景気スコアは、感染拡大が始まって以来20%に戻っていません。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

メキシコの好景気スコアは先月より6ポイント低下しています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

南アフリカ

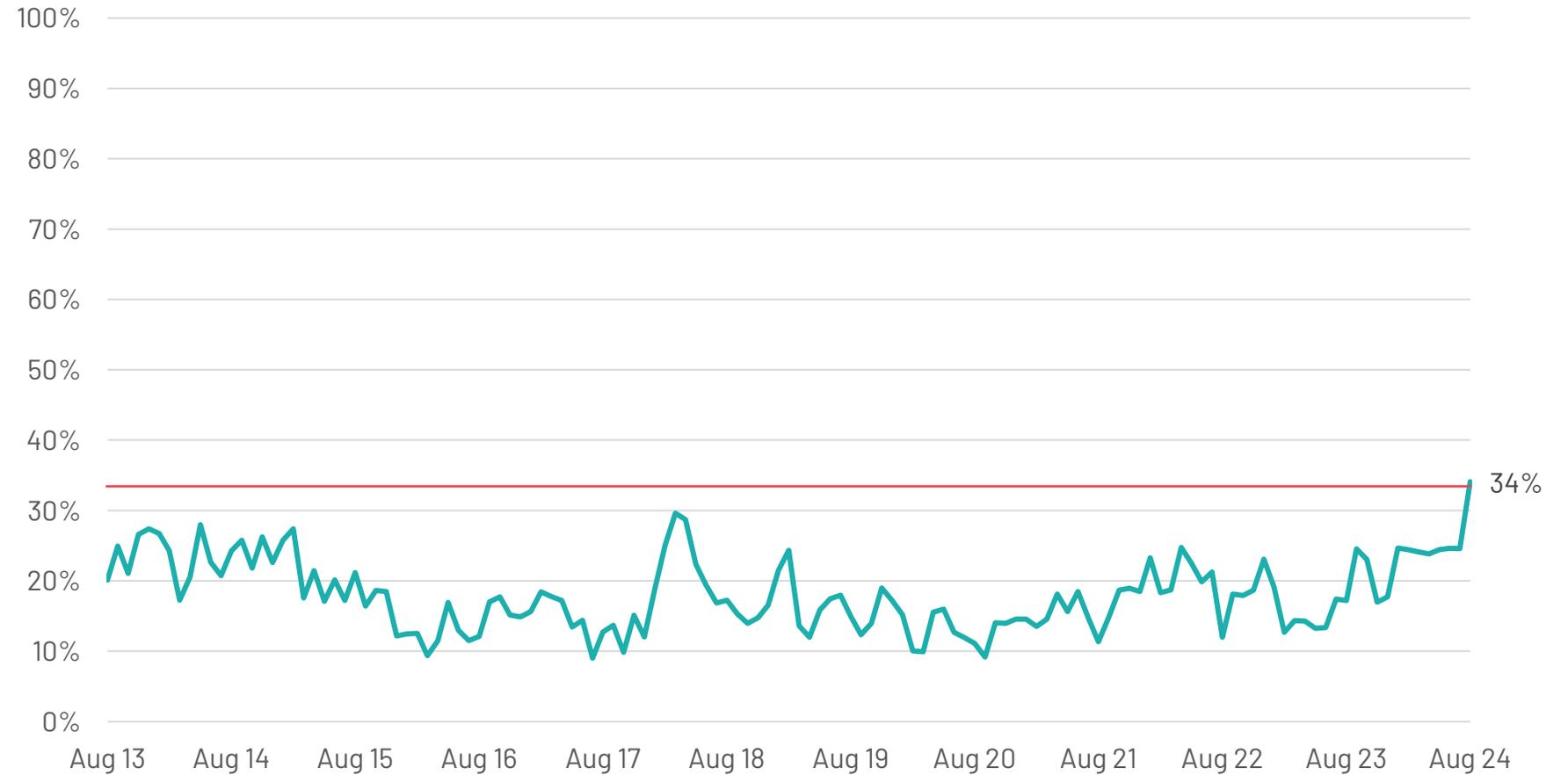
%「とても良い」または「やや良い」

今月9ポイント上昇し、南アフリカは2013年以来の最高スコアを記録しています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

スペイン

%「とても良い」または「やや良い」

スペインは先月から6ポイント上昇し、過去最高の好景気スコアを記録しています。

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加29カ国の16~74歳の成人25,670人の代表サンプル、2024年7月26日から2024年8月9日まで。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

この29カ国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2024年7月26日から2024年8月9日の間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、インドネシアとタイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人25,670人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均結果を反映しています。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、のうち約1,800人が対面で調査を受け、400人がオンラインで調査を受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口のより「コネクテッド」なセグメントの見解を反映していると見なされるべきです。

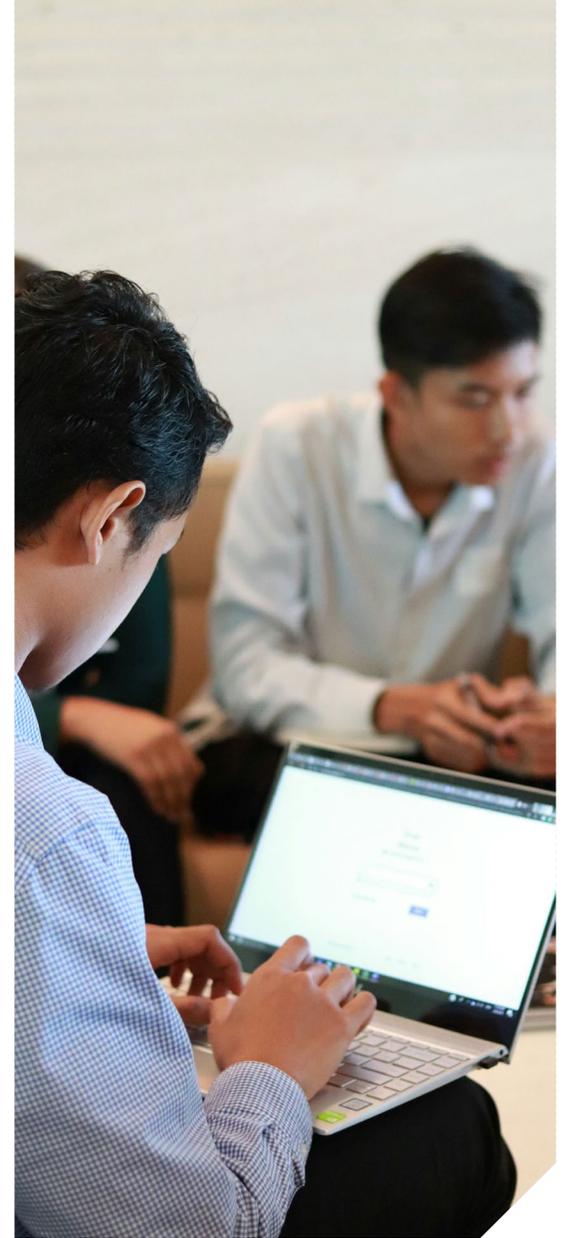
インドのサンプルは、社会経済クラスA、B、Cと、国内の4つのゾーンにまたがる都市階級ティア1~3という、都市人口の大きなサブセットを代表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが行われています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイント、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数の回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従います。



THANK YOU

CONTACT:

Teodros.Gebrekal@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com